

## 北区の避難所開設訓練

『堀川地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時：令和元年9月29日（日）午前10時～

訓練場所：堀川小学校（北区東天満2-10-7）

医療法人清和会 中川整形外科 中川和也

大規模災害時の被災者として避難所の簡易診療所での医師役での参加。想定範囲外の患者役の設定もあり、災害時の医師としてできることは？等いろいろと考えさせてもらう良い機会になりました。

『堂島・中之島地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時：令和元年10月5日（土）午前10時～

訓練場所：堂島地域集会所（北区堂島2-2-26）

加納内科 加納康至

出務しました。10時～地元の人達（町会の役員）が集合して避難所の設営（シートつきマットをひいたりする）訓練。その後、患者にみたてた人を診察して、病院に搬送するか、手

当てのみですむのかトリアージする訓練をしました。

中村診療所 中村積方

区役所の係長は、よくがんばっていると思う。20年前は、役所がそんなことをする必要があるので？という頃と比べての事ではありません。

『済生会中津病院災害対策訓練』出務報告書

訓練日時：令和元年10月19日（土）午後2時～

訓練場所：済生会中津病院（北区芝田2-10-39）

中村診療所 中村積方

今年は深夜に発災（震度6）の想定で当直医はどう動くかという訓練でした。各病棟の確認に1時間かかりました。自家発電の機械が1Fにあり、問題でした。

『済美地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時：令和元年11月17日（日）午前10時

訓練場所：済美福祉センター（北区中崎西1-6-8）

大原クリニック 大原裕彦

災害発生直後の想定。6名の模擬患者が担架によって搬送されたが、ベッドがないため、テーブル2脚をテープにて固定し、代用とする。外傷の患者が多かったが洗浄水の備蓄なし。災害時避難所傷病者問診表（訓練用）が準備されており、最低限の情報が得られた。

富野医院 富野佳夫

私的には、災害により「開業医」がほぼ全て診療不可、「病院」は縮小ながら診療可を想定して、訓練にのぞみました。重症の方は救急車で病院に搬送されると思われれますので、軽症の方を病院がパンクしないように積極的に対応する必要がありますと思われる。入院を必要としない外傷の方、糖尿病の悪化（低血糖含む）の方が重要かと感じました。避難生活が長期に及ぶ場合、特に内科系の常用薬切れにも対応が必要と感じました。同日の訓練では軽症外傷に対する場所、もの、人（当班で

外科系出身のドクターが少ないです）の対応が不十分と感じました。投薬する場合、特に常用薬の場合は複数の薬剤を数日以上処方しなければならぬので薬剤師の先生も入って頂きたく、また災害時に代表的な内服薬、インスリン等を調達する準備を整えておく必要があるのではないかと思います。

西木診療所 西木正照

今回、2回目の参加となりましたが、前回に比べ参加人数が多くなり、活気がありました。

昨今の大規模災害から、同地域でもまずは自助および共助の助けあいが必要であると参加者の意気込みを感じました。救護所において医師参加3名での救護医療のみならず、薬剤師や看護師の参加で、避難者の薬剤指導や生活指導も充実させる必要性を感じました。